

内視鏡検査における新型コロナウイルス感染症への対応について

2020年4月1日

県北医療センター高萩協同病院

胃カメラ検査の際に、のどの刺激により患者さんの咳を誘発する場合があります。患者さんが新型コロナウイルスに感染していた場合、ウイルスが咳により飛び散り、感染伝播のリスクが高くなると考えられます。また、症状がなくても新型コロナウイルスに感染している場合があることが分かっています。これらの情報を踏まえて、内視鏡検査体制を以下の通り決めました。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大のリスクをすこしでも低くするために、以下の場合には内視鏡検査を中止させていただきます。

- 1) 検査当日の検温で37.5℃以上
- 2) 感冒症状・発熱・倦怠感・息苦しさがある
- 3) 新型コロナウイルスに感染した方 ならびにその疑いのある方へ濃厚接触された
- 4) 外国から帰国して3週間以内
- 5) 食事の味がしない、匂いがしない（味覚異常・嗅覚異常）